

「明治の模範村」源村の成立と発展
付、東金地域の幕末と明治維新

東金市教育委員会

はじめに

このたび、『「明治の模範村」源村の成立と発展 付、東金地域の幕末と明治維新』が刊行されることになりました。源村は明治二十二（一八八九）年の町村制施行により成立し、明治と昭和前期に、全国三模範村の一つとなり、注目を浴びました。源村役場が成立してから消滅するまでの、約五万点以上の行政文書は、千葉県文書館に寄贈・寄託されております。

本書には、山武市歴史民俗資料館から刊行された『旧山武町の近現代―旧陸岡村・旧日向村・旧源村の成立と発展―』（平成二十八年）に掲載された源村役場文書に、新たに発見された「猪野家文書」の中の、源村役場に関する史料を加えて掲載しております。また、真忠組や新徴組についての新発見の史料もありましたので、こちらに掲載しております。これらの資料は、本市の地域史だけではなく、千葉県内外も含めた歴史研究の一助となるものと思えます。

結びに、刊行にあたりこれら大量の資料群の調査分析に当たられました、千葉県文書館古文書調査員の加藤時男氏のご尽力に心より感謝申し上げますと共に、千葉県文書館・山武市歴史民俗資料館等関係機関、団体等の皆様方のご協力にも厚くお礼申し上げます。

平成二十九年三月

東金市教育委員会 教育長 飯田 秀一